

(2) 令和3年度事業報告について

I. 総括事項

7月には、一年延期になっていた東京オリンピック、パラリンピックが開催され、福島市のあづま総合運動公園では、女子ソフトボール、野球競技がおこなわれました。その競技を通じ全世界に「復興五輪」と「ふくしま」を発信した年でありました。

一方、4月からは「第2期復興・創生期間」が始まり、防災林造成（復興創生）の植栽工事で復興を更に加速させる一方、未だ双葉郡内の帰還困難区域では、行政区毎の除染作業（生活エリア、農地、山林など）がおこなわれており、東日本大震災から10年目となりますが、これが現状であります。

更に、「新しい生活様式 with コロナ」が取り入れられて2年目となりましたが、その都度、感染予防対策を講じながら、皆様のご協力により令和3年度の事業は計画どおり実施してまいりました。特に、公益事業であります「みどりの文」では、コロナ禍にあるからこそ、緑や花に癒され、その癒しを会えない人たちと共有したいとの作品が大変多く、また、地域緑化環境推進目的であります「お庭拠点づくりプロジェクト」では応募件数が多く、「庭」がいかに暮らしを豊かにするのかを再確認いたしました。これらの事業をとおし、令和3年度も広く県民に庭や緑化環境への理解を深めていただきました。

また、共益事業として、熱中症対策特別教育の実施、庭の研修会の実施等、現場での安心・安全に資する事業も実施してきたところであります。

II. 職務執行状況について

1. 令和3年度現状報告（令和3年12月31日現在）

① 会員異動状況に関する事項

	令和3年1月1日	入会社	退会社	12月末日現在
正会員	114社	0社	0社	114社

	令和3年1月1日	入会社	退会社	12月末日現在
賛助会員	1社	1社	0社	2社

入会社1社：(有)アルパイン 代表取締役 大橋 義博（西白河郡西郷村）

【一般社団法人 日本造園組合連合会】

	令和3年1月1日	入会者	退会者	12月末日現在
組合員	54名	0社	0社	54名

【一般社団法人 日本造園建設業協会】

	令和3年1月1日	入会社	退会社	12月末日現在
会員	14社	0社	0社	14社

2. 役員会などに関する事項

①各種役員会開催報告

会議区分	開催回数
通常総会	1
理事会	5
監事会	2
三役会	5
合 計	13

②各種委員会等開催報告

委員会等区分	開催回数
推薦委員会議	1
総務委員会	2
事業委員会	2
技術・研修委員会	3
合 計	8

③その他関連会議開催報告

委員会等区分	開催回数
検定委員・検定補佐員打合せ会議	1

Ⅲ. 令和3年度 月日別行事報告

月・日	事 項	出席者	開催地
1. 22	東北地方整備局・東北国営公園事務所へあいさつ回り(日造協東北総支部)	諸井支部長	仙台市
1. 26	後期造園技能検定3級実技試験(ものづくり支援センター)	検定委員 外	須賀川市
1. 27	後期造園技能検定3級実技試験(福島職業訓練センター)	〃	福島市
2. 8	令和2年度監査	監事 外	福島市
〃	適正な建設生産システム構築・担い手確保に向けての懇談会	会長・専務	福島市
2. 16	日本造園組合連合会第3回経営・組織・安全委員会(WE B会議)	諸井理事	
2. 19	第1回三役会	三 役	福島市
2. 26	第1回理事会	役 員	福島市
〃	第9回通常総会	会 員	福島市
〃	第2回理事会	役 員	福島市
3. 5	福島県森林・林業・緑化協会第4回役員会	諸井理事	福島市
3. 11	福島県建設産業団体連合会理事会	〃	福島市
3. 23	日本造園組合連合会選考委員会(WE B会議)	佐久間選考委員	
3. 25	日本造園建設業協会理事会(書面)	諸井理事	
3. 26	第2回三役会	三 役	福島市
3. 29	日本造園組合連合会理事会(WE B会議)	諸井理事	
4. 8	四季の里「緑水苑」内覧会	会長・専務	郡山市
4. 20	第3回理事会	役 員	福島市
4. 27	日本造園組合連合会理事会(WE B会議)	諸井理事	
5. 11	事業委員会	委 員	福島市
5. 13	福島県建設産業団体連合会理事会	諸井理事	福島市
5. 18	造園技能検定委員・補佐員打合せ会議	検定委員・補佐員	福島市
5. 21	福島県森林・林業緑化協会役員会	諸井理事	福島市
5. 22	日本造園建設業協会東北総支部支部長会	諸井総支部副支部長	仙台市
5. 26	福島県職業能力開発協会理事会・総会	専務理事	福島市
〃	福島県技能士会連合会総会	専務理事	福島市
5. 27	日本造園建設業協会理事会(書面)	諸井理事	
5. 28	NPO法人通常総会	阿部主事	福島市
6. 2	福島県建設産業団連合会総会	佐久間理事	福島市
6. 11	福島県森林・林業緑化協会役員会・総会	佐久間・諸井理事	福島市
6. 14	三役あいさつ回り(福島民報新聞社・建設工業新聞社)	三 役	福島市
6. 17	造園技能検定3級学科予備講習会	受講生	福島市
6. 18	造園技能検定3級実技予備講習会	受講生	須賀川市
〃	造園技能検定1～2級課題作成	検定委員・補佐員	須賀川市
6. 21	日本造園組合連合会理事会(WE B会議)	佐久間理事	
6. 22	技術・研修委員会	委 員	福島市
〃	総務委員会	委 員	福島市
6. 28	福島県林業会議監査・総会	専務理事	福島市
6. 30	建設業等における熱中症予防指導員・管理者研修	受講生	福島市
7. 1	日本造園組合連合会第1回経営・安全委員会(We b会議)	佐久間理事	
7. 7	造園技能検定1～2級実技予備講習会	受講生	須賀川市
7. 15	造園技能検定1～2級学科予備講習会	〃	〃
7. 16	〃	〃	〃
7. 20	第3回三役会	三 役	福島市
7. 21	林業関係団体・県との意見交換会	相良副会長	福島市
7. 26	造園技能検定3級判断等試験・制作等作業試験	検定委員 外	須賀川市
7. 30	第4回三役会	三 役	福島市

月・日	事 項	出席者	開催地
8. 2	造園技能検定3級制作等作業試験	検定委員 外	須賀川市
8. 6	令和3年度上期監査	監事 外	福島市
8. 20	福島県建設産業団体連合会理事会	佐久間会長	福島市
〃	日本造園組合連合会東北ブロック会理事会（WEB）	佐久間ブロック長	
8. 24	令和4年度福島県予算要望（建産連）	佐久間会長	福島市
9. 1	造園技能検定1～2級判断等試験	検定委員 外	須賀川市
9. 2～3	造園技能検定1～2級作業等試験	〃	〃
9. 8	日本造園組合連合会ブロック長会議（WEB）	佐久間ブロック長	福島市
9. 15	第4回理事会（書面）		
9. 16	みどりの文絵手紙予備審査	審査員	福島市
9. 21	みどりの文本文審査	審査員	福島市
10. 8	技術・研修委委員会「お庭拠点プロジェクト」	三役・委員 外	郡山市
10. 12	日本造園組合連合会 安全・経営委員会（WEB）	佐久間理事	
10. 15	親善ゴルフコンペ（郡山ゴルフ倶楽部）	会 員	郡山市
10. 21	日本造園建設業協会 理事会（WEB）	佐久間理事	
10. 22	福島県優秀施工者顕彰式	佐久間会長	福島市
10. 26	日本造園建設業協会 四役会および挨拶回り	佐久間副総支部長	仙台市
10. 28	第16回みどりの文表彰式・講演会	会 員	福島市
11. 4	庭園研修会於）緑水苑	会 員	郡山市
11. 7	第4回ふくしま植樹祭	相良副会長	浪江町
11. 9	日本造園組合連合会全国事務局会議（WEB）	事務局（浅野）	
11. 11	福島県建設産業団体連合会第35回理事会	佐久間会長	福島市
11. 16	日本造園建設業協会全国事務局会議（WEB）	事務局（佐藤）	
11. 18	総務委員会	委 員	福島市
11. 18	事業委員会	委 員	福島市
11. 22	日本造園組合連合会東北ブロック会第2回理事会	佐久間ブロック長	仙台市
11. 22	技術・研修委委員会	委 員	福島市
11. 26	第5回三役会	三 役	福島市
12. 8	日本造園建設業協会東北総支部 第2回支部長会議	佐久間支部長	仙台市
12. 10	三役年末あいさつ回り	三 役	福島市
12. 13	第3回東北地方建設産業社会保険推進・処遇改善連絡協議会（WEB）	佐久間ブロック長	
12. 23	第5回理事会	役 員	福島市

IV. 各種会議報告

第9回 通常総会

- 日 時：令和3年2月26日（金）午後1時
場 所：福島市 ウェディング・エルティ
出席者：会員 105名 / 114名（本人出席26名 委任状提出者79名）
議 事：(1) 令和2年度決算報告について
(2) 役員を選任について
(3) 令和3年度役員報酬について
報告事項：(1) 令和2年度公益目的支出計画実施報告書について
(2) 令和2年度事業報告について
(3) 令和3年度事業計画について
(4) 令和3年度収支予算について

理 事 会

◆ 第1回

- 日 時：令和3年2月26日（金）午前11時
場 所：福島市 ウェディング・エルティ
出席者：理事 20名 監事 2名
報告事項：(1) 職務執行状況の報告について
議 事：(1) 令和2年度事業報告について
令和2年度決算報告について
令和2年度公益目的支出計画実施報告について
(2) 協会会長表彰について
(3) 第45回東北ブロック会会長表彰者の推薦について
そ の 他：(1) 今後の予定について

◆ 第2回

- 日 時：令和3年2月26日（金）午後1時30分
場 所：福島市 ウェディング・エルティ
出席者：理事 20名 監事 2名
議 事：(1) 会長・副会長及び専務理事の選定について
(2) 代表監事の選定について

◆ 第3回

日 時：令和3年4月20日（火）午後1時30分

場 所：福島市 協会会館

出席者：理事 19名 監事 2名

報告事項：(1) 職務執行状況の報告について

議 事：(1) 各正副委員長の互選について
(2) 造園技能検定委員の推薦について
(3) 造園技能検定補佐員について
(4) 顧問の推薦について

そ の 他：(1) 今後の予定について

◆ 第4回（書面決議）

日 時：令和3年9月15日（火）

報告事項：(1) 業務執行状況の報告について
(2) 令和3年度上期収支状況について
(3) 協会職員採用について

議 事：(1) 協会顧問の推薦について

そ の 他：(1) 今後の日程について
(2) その他

みどりの文表彰式、講演会

◆ 第5回

日 時：令和3年12月23日（木）午前10時30分

場 所：福島市 ウェディング・エルティ

出席者：理事 18名 監事 2名

報告事項：(1) 職務執行状況の報告について
(2) 会員異動状況に関する事項
(3) 役員会などに関する事項
(4) 各種会議の報告
(5) 事業報告について
(6) 収支計算状況について

議 事：(1) 令和4年度事業計画について
(2) 特別会費の料率について
(3) 役員報酬について
(4) 令和4年度予算について
(5) 就業規則第7章第26条の改正について
(6) 委員の選定について
(7) 第10回通常総会について

そ の 他：(1) 今後の予定について

監事会

◆ 令和2年度下期監査

日 時：令和3年2月8日（月）午前10時30分

場 所：福島市 協会会館

出席者：監事 3名 理事 2名

監査内容：令和2年度下期定期監査並びに業務執行状況について

◆ 令和3年度上期監査

日 時：令和3年8月6日（金）午後3時

場 所：福島市 協会会館

出席者：監事 2名 理事 1名

監査内容：令和3年度上期定期監査並びに業務執行状況について

三 役 会

◆ 第1回

日 時：令和3年2月19日（金）午後1時30分

場 所：福島市 協会会館

出席者：理事 4名

議 事：(1) 第9回通常総会提出議案について

(2) 通常総会流れについて

(3) 第1回理事会提出議案について

(4) その他

① 今後の予定について

② 日本造園組合連合会東北ブロック会会長表彰について

◆ 第2回

日 時：令和3年3月26日（金）午前11時

場 所：福島市 協会会館

出席者：理事 4名

議 事：(1) 業務執行状況の報告について

(2) 造園技能検定委員の推薦について

(3) 造園技能検定補佐員について

(4) 第3回理事会提出議案について

(5) 顧問の委嘱について

(6) 今後の予定について

◆ 第3回

日 時：令和3年7月20日（火）午前11時

場 所：福島市 協会会館

出席者：理事 4名

議 事：(1) 職員の採用について
(2) 今後の予定について
(3) その他

◆ 第4回

日 時：令和3年7月30日（金）正午

場 所：福島市 協会会館

出席者：理事 4名

議 事：(1) 職員の面接について
(2) 職員の採用について
(3) その他

◆ 第5回

日 時：令和3年11月26日（金）午前10時30分

場 所：福島市 協会会館

出席者：理事 4名

議 事：(1) 令和3年度事業報告について
(2) 収支計算状況について
(3) 令和4年度事業計画について
(4) 令和4年度収支予算書について
(5) 日本造園組合連合会東北ブロック会表彰について
(6) 第5回理事会提出議案について
(7) 今後の予定について

事業委員会

日 時：令和3年5月11日（火）午後2時

場 所：福島市 協会会館

出席者：委員 4名

議 事：(1) 令和3年事業報告について
みどりの文募集について
講演会について
カレンダーの配布について

日 時：令和3年11月18日（木）午後2時
場 所：福島市 協会会館
出席者：委員 3名
議 事：(1) 令和3年度事業報告について
(2) 令和4年度事業計画について
(3) 委員選定について
(4) 今後の日程について
(5) その他

技術・研修委員会

日 時：令和3年6月22日（火）午前10時30分
場 所：福島市 協会会館
出席者：委員 5名
議 事：(1) 資格取得予備講習会の開催について
(2) 技能講習会について
熱中症予防講習会
(3) 第14回「お庭拠点づくりプロジェクト」の実施について
担当：郡山支部
(4) 庭園研修会：緑水苑（郡山市 喜久田町）
(5) その他

日 時：令和3年10月8日（金）午後2時
場 所：郡山市 開成山公園
出席者：委員 5名 外 8名
議 事：「お庭拠点づくりプロジェクト」について

日 時：令和3年11月22日（月）午後2時
場 所：福島市 協会会館
出席者：委員 5名
議 事：(1) 令和3年事業報告について
(2) 令和4年度事業計画について
(3) 委員選定について
(4) 今後の日程について
(5) その他

総務委員会

日 時：令和3年6月22日（火）午後1時30分

場 所：福島市 協会会館

出席者：委員 5名

議 事：(1) 令和3年度事業について

- ① 第22回ボウリング県大会
- ② 親善ゴルフコンペ
- ③ 防災協定の継続締結
- ④ 「ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業」について

日 時：令和3年11月18日（木）午前10時30分

場 所：福島市 協会会館

出席者：委員 5名

議 事：(1) 令和3年事業報告について

- (2) 令和4年度事業計画について
- (3) 委員選定について
- (4) 今後の日程について
- (5) その他

推薦会議（書面決議）

日 時：（決議）令和3年2月15日（月）

担当委員：各地区からの推薦委員 6名

議 事：(1) 理事・監事候補者の確認について

検定委員打合せ会議

日 時：令和3年5月18日（火）午後1時30分

場 所：福島市 協会会館

出席者：検定委員 3名

議 事：(1) 令和3年度技能検定について

- (2) その他

V. 事業報告

1. 調査研究事業（継続事業1）

①品質向上、造園技術、造園資材、造園施工の合理化に関する調査研究をおこない、その結果を県民が利用しやすいように、わかりやすく整理し、ホームページや展示会等で広く公表した。

令和3年2月26日 造園技術向上のための専門図書や資料等の紹介

②放射性物質の除染方法に関する事業

会員がおこなった「里山の除染方法」（南相馬市における里山の除染例）についてとりまとめ、ホームページに公開し、現況について広報をおこなった。

【里山除染】

福島県の里山といわれる場所は、人家から比較的近くにあり、コナラ・クヌギ・サクラ・ヤナギ等の落葉広葉樹が生育し、その林床では四季折々様々な草花が咲き県民を楽しませてくれる場所でもあり、生業としてシイタケ榎木生産の大事な場所でもありました。

また、このような場所では、地元住民は春になると山菜を採り、秋にはキノコ狩りをして自然の恵みを感じ、季節の移り変わりを食で感じることができました。

しかし、事故後はそれもできなくなってしまいました。事故後10年が過ぎ少しずつ線量は下がってきましたが、県民はいまだに事故前のように安心して山菜等を摘むことが憚れる状況は続いています。

林床には、長い間に落葉や枯れ枝等が堆積しそれらを土壌生物たちが利用・分解し土に返してまた樹木の栄養となる循環がありました。保水に優れ豊かな里山を作る原動力でした。それが、事故後、人命が大事との観点から除染という表土剥ぎが行われ、この長い間の保たれてきた循環が途切れることになったのは残念です。

国（復興庁・農水省・環境省）では、日常的に人が入る里山の再生に向けて「里山再生事業」として除染を実施することになりました。

この方針に基づき、会員が受注し実施した里山除染について紹介します。

◆ 現場名：里山除染

施工場所：南相馬市国見山

里山除染の方法は、事故後行われた民家周辺の除染方法（表土剥ぎ撤去）と基本的に同じ方法です。

しかし、里山除染と居住区域周辺の除染と大きく異なるのは、民家周辺の除染は民家より20m範囲を行ったのに対し、里山除染の場合は里山内の小道より原則5mの範囲の5cm程度の表土剥ぎを実施するというものです。

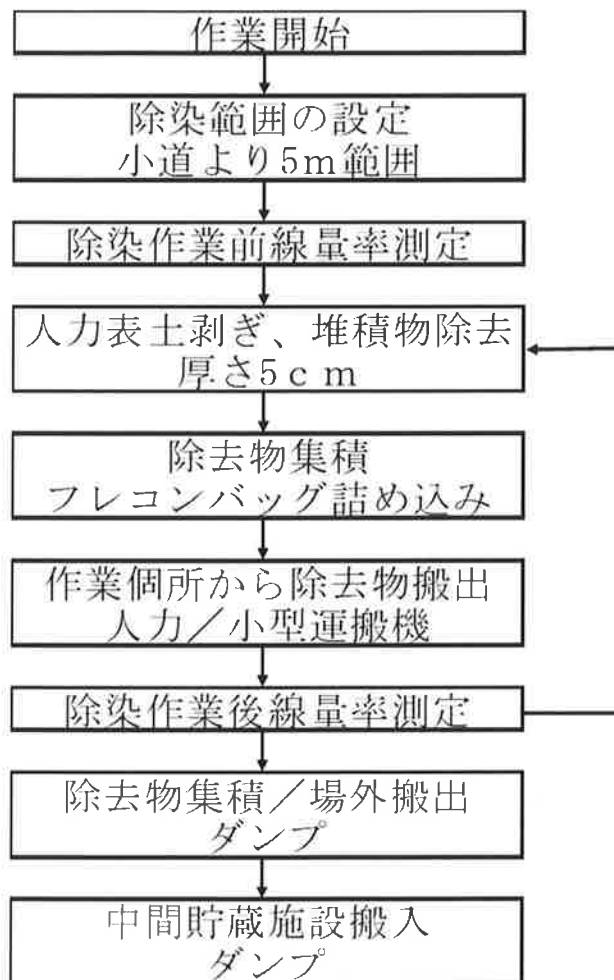
そして、それでも複雑な地形や条件により線量が下がらない場合は、さらに表土剥

ぎ取りをおこなったり、逆に覆土を行いできるだけ線量を下げる努力をするというものです。このように、居住区域では事故後の年間追加被ばく線量目標が1 mSv/yであるのに対して、里山除染では線量率を少しでも下げることが目標とした点にあると思われます。その理由は、人が生活する住居と異なり、里山の中で一年中暮らすことはないので、少々線量率が高くても年間積算での追加被ばく線量が1 mSv/yを満足するであろうとの考えであると思います。

しかし、ハイキング等で年に数回訪れる人たちにはこの考えで良いかもしれませんが、生業として林業等に携わっている人たちからすれば、危険な考えであると思わざるを得ません。里山全体の除染ができない以上、生業として林業等が成り立つような対策と、携わっている人たちには、被ばく線量の積算追跡や健康診断の実施により健康管理を行うべきと思います。

今回の大まかな作業の手順は下記のとおりです。

作業フロー



除染作業の結果（線量率の変化）

場所；南相馬市、作業面積：5.46ha

歩道番号	測点数a	測点数平均値（ $\mu\text{Sv/h}$ ）		低減率d
		作業前b	作業後c	
歩道①	8	1.126	0.689	38.810%
歩道②	2	1.133	0.913	19.417%
歩道③	2	0.629	0.535	14.944%
歩道④	2	0.790	0.623	21.139%
歩道⑤	2	0.633	0.481	24.013%
歩道⑥	2	0.617	0.485	21.394%
歩道⑦	1	0.585	0.663	-13.333%
歩道⑧	2	0.913	0.596	34.721%
歩道⑨	1	1.258	0.961	23.609%
歩道⑩	1	0.796	0.593	25.503%

低減率： $d = (b-c)/b \times 100$ (%)

単純合計	8.480	6.539	-
単純平均	0.848	0.654	22.889%

単純合計： Σb 、 Σc

単純平均： $\Sigma b / \Sigma a$ 、 $\Sigma c / \Sigma a$

測点数重みづけ合計	21.077	14.995	-
測点数重みづけ平均	0.916	0.652	28.856%

測点数重みづけ合計： $\Sigma (a \cdot b)$ 、 $\Sigma (a \cdot c)$

測点数重みづけ平均： $\Sigma (a \cdot b) / \Sigma a$ 、 $\Sigma (a \cdot c) / \Sigma a$

今回の除染作業においては、小道から5m幅の除染作業であるが、1ヶ所の例外を除いて、おおむね20%以上の線量率低減が図れたこととなります。下がらなかった個所については、周辺環境からの影響が大きいものと考えられます。

南相馬市の一例ではありますが、事故後10年が過ぎても里山には追加被ばく線量率 $0.876 \mu\text{Sv/h}$ ($=0.916-0.04$ (事故前グランド線量率仮定))が残っていること、そしてこの値は、里山に1年間滞在すると年間 7.678mSv/y となります。よって、追加被ばく線量 1mSv/y を考えると上記値から逆算して里山活動時間の目安を出すこともできるのではないかと思います。

◆ 事故後10年経過した現状

- ・ 事故後10年過ぎても土壌に残る放射性物質
- ・ 避難した住民が戻らない・戻れない町の復興
- ・ 原発事故後のずさんな管理体制
- ・ 進まない廃炉に向けた技術
- ・ トリチウム水の貯蔵と海洋放出問題
- ・ トリチウムの除去技術の研究開発

【今後の課題】

- ① 溜まり続けるトリチウム汚染水の処理。
- ② 高濃度放射物質の付着した原子炉建屋の解体。
- ③ 山林原野の除染。
- ④ 中間貯蔵施設に溜まっていく放射性廃棄物、これを30年以内（中間貯蔵開始2015年から2044年まで）に県外処分場に移送するというが、まだまだ期間があると言って具体的にその検討は進んでいないのではないか。どれをとっても難しい問題です。

- ◆ 最後に、原発事故が起きてから10年が過ぎようとしています。事故前は原子力発電所から恩恵のあった地域かもしれませんが、いざ事故が発生すると以前のような故郷には戻らず、住民もバラバラとなり一変してしまいました。取り返しのがたなくなつた状況をもう一度考えてほしいと思います。津波の自然災害だけであったなら、頑張って復興・復旧はしていたはずですが、原発事故からの復旧はいつになるかわかりません。この事故は、人間が物理学の発展により原子力というエネルギーを知り、それを利用する中で起きた事故ともいえます。これは、人間が起こした最悪の事故です。

一方、令和3年は、自然（生物の世界）から人間世界への警告ともいえる新型コロナウイルス感染症のパンデミックが起これ、今なお人々は苦しんでいます。かつて、ヨーロッパでは産業革命が起これ、日本では江戸時代から明治時代（1868年）になり徒歩・馬・飛脚の時代から、僅か150年程で新幹線・リニアカー・ジェット機・宇宙ステーション・スマートフォンと加速度的に急激に生活様式が変化してきました。化石燃料の使用量もそれに合わせて急増しました。何億年もかけて地球が蓄えてきた化石燃料を150年の短い間に使い放題使つて来ました。それにより地球環境もおかしくなつてきています。

更に、身近にある緑は、二酸化炭素を始めとする温室効果ガスを吸収してくれるため、温暖化を防ぐ役割が大いに期待されています。又、屋上緑化や壁面緑化、芝生を利用した街づくりは、ヒートアイランドをやわらげてくれます。地球温暖化が深刻な今、緑の効用を正しく知り、緑をたくさん増やしていきたいものです。そして、個々人がエネルギーの使い方を真剣に考える時期に来ているのではないのでしょうか。

2. 造園技術、技能者の育成事業（継続事業2）

造園技術、技能の習得を目指す県民や学生・受刑者を対象に、造園技術及び労働安全対策に関する研修・講習会を実施することにより、国家資格取得者の育成につながる支援をおこなった。

① 学生への指導について

期 間：5月 ～ 7月

個別指導：福島県立明成高等学校 7人

福島県立岩瀬農業高等学校 14人

福島県立磐城農業高等学校 4人

② 福島職業能力訓練センター受講者への指導について

受刑者の更正と社会復帰のための職業訓練であり、受刑者1名に対して令和2年10月1日～令和3年9月30日まで作庭と3級技能検定受検のための指導をおこなった。

3. 緑化に関する相談、緑化推進事業（継続事業3）

① 2021一語一絵 第16回「みどりの文」募集について

「よいにわの日（4月28日）」（日本記念日協会登録）に合わせて、県民の「みどり」に対する意識の高揚を図り、「みどり」の大切さを啓蒙するため、「みどりの文（ふみ）」を広く全国から募集し、表彰をおこなった。福島建設工業新聞社会長、日本造園組合連合会参与、（一社）日本公園緑地協会企画部調査役、福島民報社広告局長、当協会会長に審査員をお願いし、応募作品を多方面から審査し、応募者の性別、年齢にとらわれない公平な選考を行った。また、選考結果及び入選作品については、掲載の特集号を組み、10月28日付の福島民報新聞で公開した。

今回も、応募者の年齢が幅広く、県外からの応募者数も半数を占めた。手紙・エッセー部門では庭や緑を通して、家族との大切な思い出を綴った内容や自粛生活で改めて緑を見直す機会になったなど、さまざまな世代、地域で「緑」や「庭」は人生にとって大切な存在であるということがかうかがわれた。また、県外高校生の応募が多かったのも特徴である。今年はコロナ禍の状況をふまえながらも、感染対策を万全にし、表彰式並びに講演会を実施した。

募集期間：4月28日～8月28日

審査会：9月21日

審査会場：福島市 福島民報会館

発表：9月28日

特集号新聞公表：10月28日

応募総数：988通（手紙・エッセー部門271通 絵手紙部門421通 フォト部門296通）

② 講演会の開催について

日 時 : 10月28日(木) 午後3時 ~ 午後4時

場 所 : 福島市 ウェディング エルティ

講演者 : 齋 正機 氏 (日本画家)

内 容 : 「描く心をつくった7つの言葉(人)」をテーマに、原風景やこどもの記憶をもとに作品を描いている、と話し、生い立ちや過去の作品を紹介した。詩人 長田弘氏が残した言葉「こどもの頃見た風景が感性の源」や画家・安田靉氏の「自然には宇宙がある」は日本画家としての原点になったと語った。齋氏は、福島民報の毎月第3日曜日に「福島鉄道物語」を連載している。

受講者数 : 210 名

③ 第14回「お庭拠点づくりプロジェクト」

地域の生活環境の向上を目指し、一ヶ月間お庭の展示をおこなった。緑の環境は、民間レベルでの地球温暖化防止の一助となり、また、空気の浄化作用、癒しを与える効果もある。平成20年からの継続事業である。福島県は、三地方(浜通り、中通り、会津地方)ともにそれぞれ特色のある風土であるため、毎年各地方持ち回りで展示会、相談室を設けることで、その地方にあった生活環境をきめ細かに支援することができた。展示した庭は、その地域の緑化環境作りの起点にすべく、緑化環境作りに理解のある方々を募り、協会で選考し、そのお宅に移設をした。

【展示会】展示期間 : 10月1日(木) ~ 10月20日(木)

展示場所 : 郡山市 開成山公園

展示内容 : A「外で遊び庭^{テイ}」

B「ステイガーデン」~わたしの時間~

応募総数 : 69 通

みどりの相談所開設 : 10月17日(日) 10件(剪定・害虫害防除等)



A「外で遊び庭^{テイ}」



B「ステイガーデン」~わたしの時間~

4. 要望事項

① 令和4年度県予算編成に対する要望（建産連）

月 日	令和3年8月24日
要 望 先	自民党(土木部会)・公明党・共産党
要 旨	各地域の実情を考慮した公共事業通常予算の確保と発注について ① 大規模地震災害への防災・減災対策としての防災機能を兼ね備えた都市公園整備予算合わせて防災効果のある緑地を作るための関係予算の要望をいたします。 ② 健康で生き生き暮らせる県民生活が望まれますが、新型コロナウイルス感染症対策における外出自粛が続く中、また、新しい生活様式においても、県民の健康に都市公園、緑化環境の整備は大きな役割を果たしています。緑の効用を生かした緑のインフラ形成に係る造園工事の事業予算の拡大を要望します。

② 令和4年度県予算編成に対する要望（林業会議）

月 日	令和3年8月25日
要 望 先	自民党・公明党・共産党
要 旨	海岸防災林の再生について ① 白砂青松の美しい風景を取り戻し、津波の減災効果をはじめ防災機能や環境保全等多様な機能を有する海岸防災林の再生には、継続的な保育管理が必要であることから、長期的な視点のもと必要な予算を確保するとともに、地域住民や森林づくり活動団体、企業等の参画を支援すること。 ② 海岸防災林の造成に当たっては、引き続き事業発注の平準化を図るとともに、丸棒材などの工事資材への地域木材の活用を促進すること。

5. 福島県造園建設業協会青年部会への支援について
業界を担う次世代の青年部会の活動に対し支援をおこなった。

6. 講習会等の実施
造園技能等に関する資格取得のため、次の講習会を実施した。

技能検定受検予備講習会

【3級 学科】

日 時 : 令和3年6月17日(木) 午後1時

場 所 : 福島市 協会会館

講師：野尻晃

受講者数：2名

【3級 実技】

日時：令和3年6月18日（金）午前9時

場所：須賀川市 福島県ものづくり支援センター

講師：鈴木新一・関根慎二

受講者数：2名

【1級・2級 実技】

日時：令和3年7月7日（水）午前9時

場所：須賀川市 福島県ものづくり支援センター

講師：船山芳浩・佐藤三郎・関根慎二・渡部一弥・大甕和久・鈴木新一

受講者数：1級 23名 2級 16名

【1級・2級 学科】

日時：令和3年7月15日（木）～ 16日（金）午前9時～午後4時30分

場所：福島市 協会会館

講師：野尻晃

受講者数：1級 13名 2級 15名

技能講習

建設業における熱中症予防指導員・管理者研修

日時：令和3年6月30日（水）午後1時30分

場所：福島市 協会会館

講師：佐藤孝夫（SAサービスセンター代表）

受講者数：23名

庭園研修会

日時：令和3年11月4日（木）午前10時30分

場所：郡山市 四季の里 緑水苑

参加者数：21名

VI. 受託事業

1. 福島県職業能力開発協会より委託を受け、造園技能検定実技試験を実施した 【令和2年度後期3級】

級	内容	実施月日	実施場所	受検者数	合格者数
3	判断等試験 制作等試験	令和3年 1月26日	ものづくり支援センター (須賀川市)	21名	20名 (80%)
	判断等試験 制作等試験	1月27日	福島刑務所内(福島市)	4名	

【令和3年度前期】

級	内容	実施月日	実施場所	受検者数	合格者数
3	判断等試験 制作等試験	7月26日	ものづくり支援センター (須賀川市)	28名 14名	23名 (82.1%)
	制作等試験	8月2日	〃	28名	
1	判断等試験 制作等試験	9月1日 9月2日～3日	ものづくり支援センター (須賀川市)	25名	20名 (80.0%)
2	判断等試験 制作等試験	9月1日 9月2日～3日	ものづくり支援センター (須賀川市)	18名	15名 (83.3%)

検定委員：斎藤 達也(首席)・西東 一守・佐久間 信

検定補佐員：船山芳浩・佐藤三郎・関根慎二・渡部一弥・大甕和久・鈴木新一

2. 一般社団法人日本造園建設業協会福島県支部、一般社団法人日本造園組合 連合会福島県支部より、事務処理業務を受託した。

VII. 会員の福利厚生及び支援事業

1. 親善ゴルフコンペ

日 時：令和3年10月15日(金) 午前8時

場 所：郡山市 郡山ゴルフ倶楽部

参加者数：34名

優 勝 後藤 洋伸(福島支部)

準優勝 堀田 一彦(県南支部)

第三位 斎藤 達也(福島支部)

2. 慶弔規程に基づき、会員の慶弔等に際し給付金支給をおこなった。

香典 5件 生花 5件

3. 表彰

【協会会長表彰】

協会表彰規程にもとづき第9回通常総会において表彰をおこなった。

・功労賞 3名 ・勤続精励 7名

【外部表彰関係】

- ・3月30日 日本造園組合連合会東北ブロック会会長表彰
大甕和久 (有)大甕造園
- ・5月25日 日本造園組合連合会 みどりの技能士顕彰
大澤良行 (株)山一緑化土木
- ・7月27日 東北国営公園事務所優良工事表彰 浪江両竹地区整備工事
(株)植留緑化土木
- ・8月27日 福島県優良建設工事法面工事 (毛戸地区)
双葉グリーン土木(株)
- ・11月8日 緑のカーテンコール 店舗・事業所部門最優秀賞
常磐開発(株)JV

4. カレンダーの配布

関係機関に、毎年好評を博しておりますカレンダー配布をおこない、福島県造園建設業協会と「庭」の啓蒙をおこなった。

VIII. 令和3年度「ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業」

交換賞品提供事業者の登録

平成27年度からの継続事業であり、地域緑化推進の一助になる機会であり、提供事業者として登録をした。提供する「商品」については、20万ポイントに3件の庭等をホームページに公開をして広く周知をおこなった。

その結果、令和3年度は5件の申請があり、それぞれ対応した。